

JSPS若手研究者招聘事業-東アジア首脳会議参加国からの招へい- 若手招へい研究者らが学長を表敬訪問

平成23年10月24日(月)、JSPS若手研究者招聘事業の一環による東アジア首脳会議参加国(インドネシア・マレーシア・フィリピン・ベトナム・ミャンマー・インド)から11名の若手招へい研究者らが千葉大学に来訪した。一行は、昨年度(2010年2月)にも来訪しており、今年度も本事業が継続して採択・実施されることから、2度目の来訪の機会が実現した。

本事業は、日本の大学等研究機関による計画的な研究者交流を支援することにより、アジアを中心とした国々との研究者間のネットワークの形成・強化、当該地域における高度人材育成及び科学技術コミュニティの形成等が期待されるものとして、日本学術振興会の採択を受けているものである。(課題名:「マングローブの遺伝的多様性保全のための東南アジア若手研究者ネットワークの強化」)

表敬には、千葉大学から高垣国際担当副理事、大橋理学研究科長、綿野教授(理学)、梶田准教授(理学)、朝川助教(理学)、新村事務補佐員(理学研究科修士課程1年)、Jaruwattanaphan 実験補助員(理学研究科博士課程2年)、五味田国際企画課長らが出席した。

表敬は、齋藤学長の挨拶の後、招へい研究者らを代表して Wee Shan Kim 氏(マレーシア)から挨拶があった。続いて、出席者双方の自己紹介が行われ、千葉大学の概要の説明があった。最後に、学長から記念品が渡され、記念写真を撮影した。表敬は30分間の短い時間であったが、和やかな雰囲気の中で進行し、千葉大学は本事業に対し、今後も大学として積極的に協力・支援を行う姿勢を示した。

